
研究集会の前日に、「研究班集会」を開催します。

《研究班集会》

日時： 2019年 10 月 31 日(水) 14:00～17:00

場所： 新居浜商工会議所 3階研修室NO.1.2.3

＜鍛造材料研究班・鍛造知能化研究班の共催＞ 14:00～17:00

テーマ：「2019年度ICFG総会報告会」

1. 14:00～14:10 概要説明

岐阜大学 吉田 佳典君

2. 14:10～14:50 Tool Life & Tool Quality Subgroup

株式会社ヤマナカゴーキン 金 秀英君

3. 14:50～15:30 Process Simulation Subgroup

岐阜大学 吉田 佳典君

4. 15:40～16:10 Lubricant Subgroup

静岡大学 早川 邦夫君

5. 16:10～16:40 Advanced Precision Forming Subgroup

大阪大学 松本 良君

6. 16:40～16:50 次回のICFG総会について

岐阜大学 吉田 佳典君

＜特別企画＞ 14:00～17:00

テーマセッション・サテライト：「鍛造加工の高精度化・高機能化を促進する新技術」

趣旨：鍛造分科会が企画したテーマセッション1「鍛造加工の高精度化・高機能化を促進する新技術」（第70回塑性加工連合講演会）について、第70回塑性加工連合講演会が中止になったことを受けて、発表・聴講できる場を設けたく、研究班集会に参加される著者の一部の方々に、発表いただきます。

○：講演者

1. 14:00～14:20（講演番号：116）アルミニウム合金の前－後方直缶冷間押しにおける環境対応型潤滑剤の成形速度依存性

- 高橋一平（静岡大・院），○早川邦夫（静岡大），久保田義弘（静岡大），
石橋 格（アイルブ），中村 保（静岡大）
2. 14:20～14:40 （講演番号：109）薄肉管のねじ転造条件の検討
○山本 礼（名工大・院），三嶋章嗣（三嶋商事），北村憲彦（名工大院）
3. 14:40～15:00 （講演番号：112）歯形押出しにおける軸方向荷重と塑性流動の
変化－ねじりモーション付加鍛造加工法の開発 第7報－
田中宗太郎（阪大・院），○松本 良（阪大院），宇都宮 裕（阪大院）
4. 15:00～15:20 （講演番号：113）精密鍛造と圧延を組み合わせた深穴角筒容器
の成形法の開発
○竹下和也（ニチダイ），森 満帆（ニチダイ），村井映介（ニチダイ），
伊藤直紀（ニチダイ），古元秀昭（広島国際学院大学），小坂田宏造（阪大）
5. 15:40～16:00 （講演番号：114）超音波を用いた金型嵌め合い面の評価手法の
開発
○久保田 智（ヤマナカゴーキン），金 秀英（ヤマナカゴーキン），
細谷昌裕（千葉県産業支援技術研究所）
6. 16:00～16:20 （講演番号：121）最適化手法と機械学習を用いた熱間摩擦パラ
メータの同定
○吉田佳典（岐阜大金型セ），高橋祐汰（岐阜大・院）
7. 16:20～16:40 （講演番号：104）Chaboche複合硬化則による非調質冷間鍛造部
品の強度予測手法
○新貝康晴（日本製鉄），加田 修（日本製鉄），西村隆一（日本製鉄），
成宮洋輝（日本製鉄），吉川伸麻（日本製鉄）
8. 16:40～17:00 （講演番号：101）異方損傷モデルによる冷間鍛造における延性
破壊の予測手法の提案
渡邊敦夫（日産自動車），○早川邦夫（静岡大），
藤川真一郎（日産自動車），志賀則幸（日産自動車）

以上